

夏場の電力需要不足への対策

夏場の電力不足予想時には

缶・PET飲料自販機は冷却運転を停止しています

東京電力の原発事故に伴う電力供給不足により、各方面において電力消費を抑える方が実施されています。自販機業界におきましても照明を24時間消灯しております。

夏場には相当の電力が不足することが予測され、自販機の稼働を停止すべきとのご指摘も受けております。実は、夏場の昼間には缶・PET清涼飲料自販機は、従前より冷却機の運転を停止しています。これは、夏場の電力需給を平準化するために1995年より電力会社とともに実施しているもので、エコベンダーと呼ばれています。

電力需要がピークに達するのは、オフィスや家庭などでエアコンが一斉に付けられる夏場の平日午後1時～4時の間です。今回予測されている電力の不足もこの間に起こるものと考えられます。

缶・PET清涼飲料自販機は、7～9月の3ヶ月間の平日は、電力需要の少ない午前中から午後1時に商品を冷やしこみ、午後1～4時の3時間は冷却機の運転を停止するピークカット機能を有しています。照明も消していますので、この3時間に使用する電力は、紙幣や硬貨の識別などに使用する微量の電力と待機電力のみで、1台あたり17Wに過ぎません。

ピークカット機能は、自販機に内蔵されるマイコンでカレンダー制御され、出荷時設定となっています。この機能を市場で解除することはできません。

現在、全国の缶・PET清涼飲料自販機は全てピークカット機能付のエコベンダーになっています。

自販機業界は、これまで大幅な消費電力量の低減を行ってきました。また、現在、省エネ法の特定機器に指定され、2012年を目標年として更なる省エネを進めているところ です。

皆様にご理解頂きますようお願い申し上げます。